農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

小山市長 浅野 正富

市町村名 (市町村コード)	小山市 (09208)
地域名 (地域内農業集落名)	桑(中)地区 (喜沢東部、喜沢南部、喜沢中部、喜沢北部、羽川北組、羽川中組、羽川下組、荒井北部、荒井南部)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年8月26日 (2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

アンケート結果を確認する限りにおいて、当地区は、70代以上が全体の49%を占め高齢化が進んでいる。後継者が不足している一方で、農地が分散していることから、作業の効率化を図る必要があるため、農地の集積・集約化を推進する必要がある。

【地域の基礎的データ】

農家人口:374人、アンケート回答者数:116人(うち70歳以上の高齢者の人数:57人)

主要作物:米(従来農法:水稻)その他作物:麦(ビール麦、小麦)、ねぎ、そば、はくさい、きゅうり、トマト

(2) 地域における農業の将来の在り方

当地区の主要農産物は米(水稻)・麦である。一部の農家では有機肥料・減農薬を取り入れている。他にねぎ、そば、はくさいといった露地野菜作りも盛んである(そばは無農薬で育成している)。小規模分散型は作業効率が落ちるため、農地の集積・集約化を進め、作業の効率化を目指していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	188.08 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	188.08 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	- ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域内の農振農用地を本計画の区域とする。

※公共事業(道路や調整池の設置等)による地域計画の変更については、当該事業の対象区域の確定後に行うこととする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
小さい区画(農地)を売りたいと言う農家が増えた。中心となる担い手に農地の集積・集約化を進めて行く。農業委員や、地元の有志が一体となって協議をすすめる。具体的には目標地図を基礎として、離農希望者の農地から検討を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
必要に応じて農地法第3条及び農地中間管理機構の活用を使い分けることとする。
(3)基盤整備事業への取組方針
現在、用排水路の整備を行っており、引き続き他地区についても整備を検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
特になし。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
今後の課題の一つとして機会があれば検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ②一部農家で有機肥料の採用と農薬の縮減に努めている。
- ⑨糞とたい肥の交換を畜産農家と行っており、引き続き耕畜連携を拡充していく。